

『生まれ育った地域で暮らすための準備(お金の練習編①)』

テーマ 生活

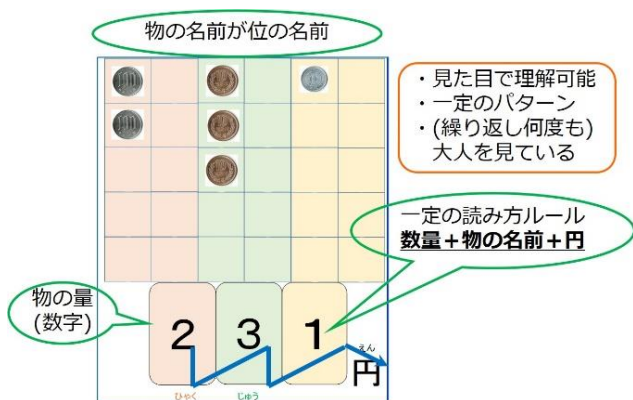
「生まれ育ったこの地域で、我が子を小さな時から知っている人達に見守られながら暮らしてほしい」。

障がいのあるお子さんのいらっしゃる保護者の方からこのような言葉をよくお聞きします。中には、その願いを実現させるためにお引越しをされた方もいます。

その想いとはうらはらに、お子さんご自身に 1 人で暮らせる力が備わっていない現状もあります。障がいのあるお子さん達は、ゆっくり、ゆっくり物事を習得します。「生きる力」を育てるために、今日から出来る事を少しずつ始めませんか？まずはお金の勉強を始めましょう。

お金は、たし算や引き算が出来なくても使えます。数を 10 まで数えられるかどうか、お金の学習をスタート出来る目安です。

「10 まで数えられる」の定義は、数字と、その数字の表す量が一致している事です。



五円玉、50 円玉などの「5」のつくお金を除外してスタートする事で、大きな混乱を防ぐ事が出来ます。

上の図(左)は、コインの位取りをあらわしたものです。この表をレジ横に置かせてもらってお金と数字の関係性を学ぶと同時に、お金を「買い物するための道具」として認識する練習をします。コインを分けて収納できるケース(写真・中)もあれば、より便利です。

この方法は、初めてお金の練習をするお子さんの成功率が高くなります。

最初はお金を好きになる事が大切です。成功体験をたくさん積ませてあげましょう!!